

状態に合わせた対応と支援

中期～重度編

認知症が進行すると、自分の気持ちや考えを伝えることが難しくなり、生活の中で誰かの介助を受けることが増え、家族や身近な人にとっての負担が強くなります。場合によっては施設への入所を検討する時期になってきます。

○本人の気持ち

- ・意思表示が難しくなり、自分の思いや希望が相手に通じなくなり、いらだちを感じやすくなります。
- ・理解できることが少なくなり、不安が大きくなります。また孤独感を感じることもあるので、誰かに話しかけて欲しいと思っています。

○家族の気持ちや受け入れ方

- ・以前と変わった姿を目の当たりにし、辛い気持ちになることもあります。あきらめの気持ちやいつまで続くかわからない先行きへの不安が出てきます。
- ・介護サービスなど他者の手を借りることでつらい気持ちを軽減し先行きの不安が和らぐことにつながります。
- ・本人のあるがままを受け入れられるようになります。

施設に入所!

どんなイメージをお持ちですか?



施設入所することに良いイメージを持っていない人もいるのではないのでしょうか。

最近では施設に入所しても、地域の行事に参加したり、ドライブに出かけたりするなど、楽しく過ごすことができるように工夫されています。

自宅でも施設でも気持ちよく、楽しく暮らすこと、そしてこれまでの暮らしを続けることが、認知症の進行を遅らせることにつながる場合があります。

入所施設の種類

- 特別養護老人ホーム…常時介護が必要な人が、日常生活上の支援や介護を受けることができます。
- 介護老人保健施設…要介護状態の人が、施設に入所してリハビリや療養上の世話を受けることができます。
- 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)…要支援2以上の認定を受けた認知症の人が、少人数で家庭的な雰囲気の中で、介護を受けながら共同生活を送ることができます。

※その他にも入所可能な施設があります。

介護保険のサービスや施設を利用したい場合

要介護(要支援)認定を受ける必要があります。

くわしくは、**かかりつけ医**、または**唐津市高齢者支援課介護認定係(TEL58-8095)**にご相談ください。